

家庭学習

中学校版 ～保護者用リーフレット～ の手引き

佐賀県教育委員会 平成 31 年 4 月

家庭学習の習慣化で、
子どもたちの「学ぶ力」を
育てましょう！

家庭学習の習慣化を支える わが家のひと工夫

学校から
帰宅をしたら、
夕食の準備の間に宿題を済
ませるようにしています。
(中1女子の母)

勉強する場所と
休みの場所を
分けて、気持ちの切り替
えができるようにして
います。
(中3男子の父)

「今は〇〇の時間」とお互いに伝
え合うようにしています。そうす
ることで時間の使い方を見直
し、メリハリのある生活
ができています。
(中1男子の祖父)

娘が勉強をしている時、
私も資格を取るため
の勉強を
しています。
お互い意識しながら
一緒に頑張っています。
(中1女子の母)

自分で毎日することを決
めさせ、こつこつやること
の大切さを話しています。
小さなことでも毎日がん
ばっていること
をよくほめてい
ます。
(中1男子の父)

一緒に夕食がとれない
時は、「がんばってね」
「温めて食べてね」など
一言メッセージを添えて
夕食を準備するよう
にしています。
(中2女子の母)

ゲームや音楽を聴く時間
を自分で決めて守って
います。守ることができ
点をほめるようにし
ています。
(中3女子の母)

家族みんなで
「おはよう」「おやすみ」
のあいさつを必ず交わす
ことに決めて実行して
います。(中2男子の父)

生活の
リズム

学ぶ
雰囲気

がんばりを
ほめる

家族の
対話

家庭学習の習慣化4つのススメ



生活のリズムを整えましょう！



学ぶ雰囲気をつくりましょう！



**小さな「がんばり」を見つけ、
ほめてあげましょう！**



家族の対話を大切にしましょう！

読書も習慣化を！

読書でひらく心と世界
めくるページ、広がる想像

読書も習慣化するために、
「読書ノート」

を作ってみましょう。感想や本の中の好きな言葉を記録して家族で共有してはいかがでしょうか。たくさんの出会いの中から、運命の一冊に出会えるかもしれません。

家庭学習を習慣化することで、がんばりぬく力や授業の集中力が高まったり、いろいろな学習分野への興味関心が深まったりします。

家庭学習の習慣化4つのススメはそのような力や能力を大きく支えます。



家庭での関わり方のポイント！



がんばりぬく力や継続する力を育てるために、毎日行うことのルールを子どもと一緒に決めることは大切です。ルールが自然と身につくようになるまで家族で見守りましょう。



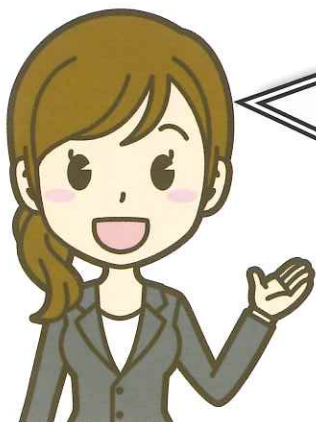
子どもが学びに向かうためには、静かな空間を作るなど家族の協力が必要です。見守る側のルールも決めて、学ぶ雰囲気を作りましょう。



子どもたちは日々、小さな成長を繰り返しています。その成長を見逃さず、「すごい！」「やったね！」とほめて、自信をもたせましょう。



中学生になると自分で考えて行動することが多くなります。つつい口を出しがちになりますが、温かく見守りながら、必要に応じた前向きなアドバイスを行うようにしましょう。





○子どもが自分で守るように、テレビを見る時間やゲームをする時間、家庭でのルールなどを話し合って決めましょう。

例えば、

早寝、早起き、朝ごはん！

次の日の準備は寝る前に！

起きる時間、寝る時間を決めて！

生活のリズムを整えましょう！



○決めた時間になったら学習に向かうように、家族が協力して、学習に向かう雰囲気をつくりましょう。

例えば、

身のまわりの整理・整頓！

テレビを消すなど学習に集中できる環境を！

学習と休けいのメリハリを！

学ぶ雰囲気をつくりましょう！

家庭学習の習慣化4つのススメ

～わが家の場合～ ご家庭での約束事を決めてみましょう！



○子どもが自分で進んでしたことや努力したことを見逃さず、一言声かけを行いましょう。

例えば、

結果はもちろん、がんばった過程も大切に！

失敗は成功のもと、いいところを見つける！

子どもの“よさ”を具体的にほめる！

小さな「がんばり」を見つけ、ほめてあげましょう！



○子どもの話をしっかり聞いて、保護者からも話をするようにしましょう。

例えば、

家族の中でのあいさつを大切に！

新聞記事やニュースなども話題に！

寄り添い、応援するスタイルで！

将来について語り合おう！

家族の対話を大切にしましょう！

家庭学習の習慣化に向けて力を入れてほしいこと！



- 朝食はいつも同じ時間にとれるようにする
- 十分な睡眠時間を確保できるようにアドバイスする
- テレビやゲームなどの時間を子どもと一緒に決める



- 身のまわりの整理・整とんをするように促す
- 家族で一緒に読書や学習に取り組む時間をつくる



- 「がんばり」を見逃さず心からほめる



- 家族であいさつをする雰囲気をつくる
- 子どもの話に耳を傾け、その日の出来事などを話題にする

まずは、できることから始めましょう。

継続と徹底

どんなによい取組でも、一過性のもものでは本当の力にはなりません。大切なことは、その取組を「継続すること」「徹底すること」ではないでしょうか。学習習慣や生活習慣について、子どもたちの学びの環境を整えていきましょう。

【リーフレットの使い方】

このリーフレットは、各家庭で「家庭学習の習慣化4つのススメ」を具体的に実践していただけるよう、**わが家のひと工夫の事例** 家庭での関わり方のポイント 家庭での約束事の作成 家庭学習の習慣化に向けて力を入れてほしいこと といった視点から作成しています。ご家庭で、わが家に一番あったページをお選びいただき、掲示するなどご活用ください。家庭と学校が連携して、家庭学習を充実させ、子どもたちの学力向上を図っていきましょう。

お問い合わせ先：佐賀県教育庁教育振興課 ☎0952-25-7476 ✉kyouiku-shinkou@pref.saga.lg.jp

わが家の家庭学習！

学ぶ楽しさを知る 1、2年生

学習の大切さに気づかせる

家庭学習の内容 (Aさんの場合)

分からないことがあるとすぐに周りに聞いていた娘ですが、自分で調べることの大切さを学校で聞いて以来、辞書やパソコンを使って調べるようになりました。今では、気になることや勉強に関することも自分から調べています。親としては、調べる過程を見守っています。

自己実現を目指す3年生

計画を立てて学習に励ませる

家庭学習の内容 (Bさんの場合)

3年生になり、進路実現に向けてやる気も高まっています。そのやる気をほめながら、計画的に1、2年生の復習をするように助言しています。息子は問題集を使って勉強を進め、分からなかった問題ややり直したい問題に付箋を貼り、何度も取り組んでいます。

学力向上に関する県のHPは、こちらから

